資料２－６

平成２２年度需給計画の上半期（４月～９月）の実施状況（報告）

平成２２年度の需給計画の実施状況について、安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律第２６条第３項の規定を踏まえ、以下のとおり報告する。

１．平成２２年度に国内において製造され、又は輸入されるべきとした血液製剤の種類及び量の目標と実績（４月～９月）

製造及び輸入量は概ね順調に推移している。
（製造・輸入量実績は、別表の①欄のとおり）

２．平成２２年度に原料血漿から製造されるべきとした血液製剤の種類及び量の目標と実績（４月～９月）

国内献血由来の原料血漿からの製造量は概ね順調に推移している。（製造量実績は、別表の②欄のとおり）

３．平成２２年度に必要と見込んだ血液製剤の種類及び量と供給実績（４月～９月）

これまでのところ供給量は概ね順調に推移している。
（供給量実績は　別表の③欄のとおり。）

※平成21年度と比較すると、乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子製剤の国内自給率に低下がみられる（100．0%→66．7%　←輸入製剤（遺伝子組換え）の参入）。

４．平成２２年度の原料血漿確保目標量と実績（４月～９月）

原料血漿の確保は、これまでのところほぼ順調に推移している。

確保目標量　　９６万リットル
確　保　量　　５２万リットル（達成率５４．２％）

５．原料血漿の配分について

血液製剤の製造業者への原料血漿配分については、今年度９月末までの原料血漿確保状況からみて、原料血漿の確保量は計画どおり実行できると見込まれる。

別表

平成２１年度の血漿分画製剤の需給状況（需給計画との比較）

製剤名	換算規格・単位	製造・輸入量 ①計		製造・輸入量 ②うち国産原料		③供給量		自給率（供給ﾍﾞｰｽ）	
		上段：実績（達成率）下段：需給計画		上段：実績（達成率）下段：需給計画		上段：実績（達成率）下段：需給計画		２０年度	２１年度
アルブミン（遺伝子組換え型含む）	25%50ml(瓶)	3,042,500	(104.1%)	1,746,600	(97.9%)	2,945,240	(94.7%)	60.7%	58.5%
		2,923,800		1,784,900		3,111,200			
乾燥人フィブリノゲン	1g	4,400	(122.2%)	4,400	(122.2%)	4,500	(121.6%)	100.0%	100.0%
		3,600		3,600		3,700			
組織接着剤	接着面積（cm2）	10,758,400	(95.0%)	5,287,800	(107.4%)	10,453,300	(96.6%)	47.9%	45.0%
		11,326,400		4,923,000		10,822,800			
血液凝固第Ⅷ因子（遺伝子組換え型含む）	1000単位（瓶）	378,800	(99.3%)	84,700	(89.8%)	369,500	(102.6%)	29.6%	24.8%
		381,300		94,300		360,300			
乾燥濃縮人血液凝固第IX因子（複合体含む）	1000単位（瓶）	56,500	(129.6%)	56,500	(129.6%)	46,800	(113.3%)	100.0%	100.0%
		43,600		43,600		41,300			
インヒビター製剤	延べ人数（人）	12,000	(88.2%)	0		15,400	(93.9%)	0.0%	0.0%
		13,600		0		16,400			
ヒト血漿由来乾燥血液凝固第ＸIII因子	（瓶）	127,900	(137.5%)	0		117,000	(104.7%)	0.0%	0.0%
		93,000		0		111,800			
トロンビン（人由来）	10000単位（瓶）	27,000	(150.0%)	27,000	(150.0%)	22,400	(96.1%)	100.0%	100.0%
		18,000		18,000		23,300			
人免疫グロブリン	2.5ｇ瓶（瓶）	1,344,000	(93.4%)	1,274,900	(95.2%)	1,383,100	(87.9%)	95.9%	95.1%
		1,439,500		1,339,700		1,572,800			
抗ＨＢｓ人免疫グロブリン	1000単位（瓶）	13,200	(46.8%)	500	(100.0%)	17,600	(92.6%)	2.4%	2.2%
		28,200		500		19,000			
乾燥抗Ｄ（Ｒｈｏ）人免疫グロブリン	1000倍	8,800	(89.8%)	0		9,500	(100.0%)	0.0%	0.0%
		9,800		0		9,500			
抗破傷風人免疫グロブリン	250単位（瓶）	56,100	(76.5%)	0		56,800	(80.0%)	0.0%	0.0%
		73,300		0		71,000			
乾燥濃縮人アンチトロンビンIII	500単位（瓶）	365,000	(87.7%)	365,000	(87.7%)	405,900	(94.8%)	98.1%	100.0%
		416,300		416,300		428,000			
乾燥濃縮人活性化プロテインＣ	2500単位（瓶）	30	(7.5%)	30	(7.5%)	200	(100.0%)	100.0%	100.0%
		400		400		200			
人ハプトグロビン	2000単位（瓶）	42,600	(113.9%)	42,600	(113.9%)	40,900	(107.6%)	100.0%	100.0%
		37,400		37,400		38,000			
乾燥濃縮人Ｃ１-インアクチベーター	500倍（瓶）	2,100	(525.0%)	0		1,000	(142.9%)	0.0%	0.0%
		400		0		700			

注１．数値は、製品の規格別に報告された数量を集計し、代表的な規格・単位に換算したうえ、四捨五入により１００又は１０の整数倍で表示した。

注２．液状タイプの組織接着剤については、接着・閉鎖部位の面積当たりの使用量を勘案して換算し、インヒビター製剤については、体重50kgの人への投与量を標準として人数で算出した。